

# 山梨県子ども読書活動推進実施計画（第4次）の概要

令和6年3月策定

## 第4次計画の策定にあたって

### 計画の趣旨

本県の子ども読書活動の一層の充実を図るために、「第3次山梨県子ども読書活動推進実施計画」（H29.3 策定）による取組や子どもの読書活動を取り巻く環境の変化等で明らかになった成果と課題を踏まえ、今後の県の基本的な施策を示すとともに、市町村や民間団体等の活動の指針とする。

### 計画の位置付け

- 「子どもの読書活動の推進に関する法律」第9条に基づく計画
- 「山梨県教育振興基本計画」の個別実施計画

### 計画の期間

令和6年度から令和10年度までの5年間

### 県第3次計画の数値目標の成果

- ◎図書室・図書館の非利用率（全く利用しない人の割合）〔H27⇒R5〕
  - 小学校 22.9% ⇒ 38.5%〔目標 14%〕〔全国 30.7%⇒40.9%〕
  - 中学校 41.6% ⇒ 46.8%〔目標 25%〕〔全国 57.0%⇒59.8%〕
- ◎不読率（平日、学校の授業以外で読書をしない人の割合）〔H27⇒R5〕
  - 小学校 17.5% ⇒ 21.1%〔目標 11%〕〔全国 19.9%⇒24.5%〕
  - 中学校 29.2% ⇒ 28.2%〔目標 18%〕〔全国 35.0%⇒36.8%〕
- ◎県立高校における図書館の授業利用時間（全高校の平均値）〔H27⇒R4〕
  - 118h ⇒ 80h〔目標 120h〕
- ◎市町村ブックスタート実施率〔H27⇒R4〕
  - 74.1% ⇒ 92.6%〔目標 89%〕 達成
- ◎小中学校におけるボランティア活用率〔H27⇒R2〕
  - 55.6% ⇒ 55.9%〔目標 62%〕
- ◎市町村の推進計画策定率〔H27⇒R4〕
  - 44.4% ⇒ 74.1%〔目標 66%〕 達成

### 読書活動の現状

- ・コロナ禍の影響による閉館や利用の制限等により、図書室・図書館の利用が減少(本に触れあう機会の減少)
- ・学校段階が進むにつれて、読書離れが進む傾向
- ・スマートフォンやタブレット等、デジタル機器の利用時間が増加 (H29⇒R5 小中学生：約2倍 高校生：約1.5倍)
- ・学校の1人1台端末の導入による学習形態の変化に伴い、学校図書館の利用が減少
- ・特別支援学校や特別支援学級に在籍する児童生徒や、日本語能力に応じた支援を必要とする児童生徒の増加
- ・コロナ禍の影響により、外部の方を招いた読み聞かせ会等が減少

### 課題

- ・学校入学時の学校図書館に関するオリエンテーション等の充実
- ・**子どもの意見を取り入れた図書館運営**
- ・いつでも子どもが本に接することができる環境づくり
- ・デジタル社会に沿った、電子書籍等紙媒体以外の本の充実と活用促進
- ・学校図書館の利活用を基にした情報リテラシー教育の充実
- ・**全ての子どもの可能性を引き出すための読書環境整備と本にアクセスできる機会の環境づくり**
- ・司書教諭、学校司書の連携・協力、専門的な研修の機会の確保
- ・保護者や地域ボランティアへの研修・講座の充実

## 基本理念

全ての子どもたちに豊かな読書体験を ～豊かで幸せな人生（ウェルビーイング※）につなげるために～

※身体的・精神的・社会的に良い状態にあること

## 基本方針・具体的な施策

※「共通」は、「家庭」「地域」「図書館」「学校等」での取組

### 1. 子どもの読書活動を推進するための社会全体での取組

共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの発達段階に応じた読書活動の推進</li> <li>家庭、地域、図書館、学校等との連携</li> <li>推薦図書リストの作成、配布、活用の推進</li> <li>読み聞かせ会等、読書の楽しさを知るイベント等の充実</li> </ul>
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブックスタート等による本と出会う場づくりの普及・促進</li> </ul>
図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの意見を取り入れた図書館運営</li> <li>調査・研究、開発機能の強化</li> <li>学校等への支援</li> <li>連携・協力体制の整備</li> </ul>
学校等	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの意見を取り入れた学校図書館運営</li> <li>子どもが主体となって実施する活動や協働的な活動の推進</li> <li>体験活動、探究的活動と連動した取組の推進</li> <li>情報リテラシー教育の推進</li> <li>コミュニティ・スクール、地域学校協働活動と連携した読書活動の推進</li> <li>学校図書館を活用した学校全体での取組の推進</li> </ul>

### 2. 子どもの読書活動を推進する人材の育成

共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館職員、教職員、子育て支援に関わる職員への研修実施による専門性の向上</li> <li>保護者、読書ボランティア等への講座の開催等による読書活動の支援</li> <li>人材育成のための情報の提供</li> </ul>
----	--

### 3. 子どもの読書活動を推進するための環境整備・充実

共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>読書環境の充実</li> <li>子どもが本に接することのできる環境の整備</li> <li>特別な支援を必要とする子どもの特性や状況等に合わせた書籍の整備</li> <li>日本語能力に応じた支援を必要とする子どもへの読書活動の推進</li> </ul>
図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子書籍を含む、図書館資料の充実と利用促進</li> <li>相談体制の整備・充実</li> </ul>
学校等	<ul style="list-style-type: none"> <li>魅力ある学校図書館に向けた環境の整備・充実</li> <li>学校種間の移行段階における取組の推進</li> <li>学校図書館DX化の推進</li> </ul>

### 4. 子どもの読書活動を推進するための普及・啓発

共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種読書イベント等の情報収集と提供</li> <li>「子ども読書の日」「こどもの読書週間」「読書週間」等における普及・啓発</li> <li>インターネット、SNSを活用した普及・啓発</li> <li>子どもの読書活動の意義や重要性を伝える取組</li> <li>調査の実施、県民の読書活動の推進</li> </ul>
----	--

## 推進体制の整備

子ども読書支援センター：子どもの読書活動に携わる人及び子どもの読書活動を行う機関・団体に対する支援を実施

- 子ども読書支援センター（県立図書館内）の積極的な活用
- 諸機関の連携・協力の強化
- 市町村における推進体制の整備と支援
- 計画を着実かつ効果的に推進するための進行管理
- 理念の実現に向けた数値目標の設定（R10までに達成を目指す）

項目		実績（R5）	目標値（R10）
①図書室・図書館の非利用率（全く利用しない人の割合）	小学校	38.5%	19%
	中学校	46.8%	30%
②不読率（平日、学校の授業以外で読書をしない人の割合）	小学校	21.1%	12%
	中学校	28.2%	22%
③公立高校の学校図書館での貸出冊数（一人あたりの年間平均貸出冊数）		5冊 ※1	12冊
④市町村ブックスタート実施率		92.6% ※1	100%
⑤ボランティア活用率	小学校	78.8% ※2	100%
	中学校	8.8% ※2	17%
⑥市町村の推進計画策定率		74.1% ※1	100%

※1の数値は令和4年度 ※2の数値は令和2年度

### 典拠資料

- ①、②は「全国学力・学習状況調査」（文部科学省）
- ③は「学校図書館白書」（山梨県高等学校教育研究会学校図書館部会）
- ④は「山梨県の図書館—山梨県図書館白書—」及び県調査（山梨県立図書館、山梨県公共図書館協会）
- ⑤は「学校図書館の現状に関する調査」（文部科学省）
- ⑥は「都道府県及び市町村における子どもの読書活動推進計画の策定状況について」（文部科学省）